

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 1 区分
【発行日】 平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)

【公表番号】 特表 2001-512618(P2001-512618A)

【公表日】 平成 13 年 8 月 21 日 (2001.8.21)

【出願番号】 特願 平 10-536601

【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 R 12/20

G 0 6 K 19/077

H 0 5 K 7/12

【F I】

H 0 1 R 23/68 Q

H 0 5 K 7/12 N

H 0 5 K 7/12 R

H 0 5 K 7/12 M

G 0 6 K 19/00 K

【手続補正書】

【提出日】 平成 16 年 6 月 15 日 (2004.6.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 補正の内容のとおり

【補正方法】 変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年 6月15日



特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第536601号

2. 補正をする者

氏名(名称) ミネソタ・マイニング・アンド・
マニュファクチャリング・カンパニー

3. 代理人

住所 〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名 弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容
別紙のとおり。

請求の範囲

1. 本体の背面から突出している複数の半田テールと、該背面と反対の、本体の前面に形成されている複数のレセプタクルとを有するコネクタ本体を備え、

前記半田テールは、前記前面および背面を貫いて延在し且つ上面および底面間で前記本体と交差する平面に沿って整列する末端部を有し、

前記前面は、そこに形成された少なくとも1つの前面凹部を備え、該前面凹部は、また、前記本体の底面の一部によって形成されると共に、該前面凹部は、その半田面に位置する支持面を有するエッジ取付用コネクタ。

2. 本体の背面から突出している複数の半田テールと、該背面と反対の、本体の前面に形成されている複数のレセプタクルとを有するコネクタ本体と、

回路基板パネルに形成された切欠き内の実質的に平らな面に前記本体を支持する支持手段であって、半田テールと、少なくとも1つの前面凹部が内側に形成されている前面とを有する支持手段とを備え、

前記凹部は、前記本体の隣接する底面の一部と一体に形成されると共に、前記凹部は、前記平らな面に位置する支持面を有するエッジ取付用コネクタ。

3. 前記前面に形成される第2の前面凹部を更に備え、前記1つの凹部が前記第2の凹部と間隔を置いて配置され、

反対側に位置する一对の端面を選択的に更に備え、前記凹部は、また、該端面の一部によって形成され、

結合される集積回路カードフレームを選択的に更に備え、前記端面にロック用タブを有し、前記カードフレームは該ロック用タブを受け入れるために内側に形成したスロットを備えた請求項1又は2に記載のコネクタ。